

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
家庭	家庭総合α	2	「家庭総合 自立・共生・創造」 (東京書籍)	DVD・調理用具等	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	自分らしい人生を作る 高齢社会を生きる	青年期の生き方を考えさせ、家族・家庭に意義と社会とのかわりについて理解させ、男女が協力して家庭を築くことの重要性について理解させる。 高齢者の心身の特徴や高齢社会の現状と福祉などについて理解させ、地域及び社会の果たす役割について理解させると共に、高齢者の自立生活を支えるための支援の方法や高齢者とかかわることの重要性について考えさせる。	定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
前期期末まで	高齢社会を生きる 経済生活を営む	高齢者の心身の特徴や高齢社会の現状と福祉などについて理解させ、地域及び社会の果たす役割について理解させると共に、高齢者の自立生活を支えるための支援の方法や高齢者とかかわることの重要性について考えさせる。 生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任などについて理解させ、現代の消費生活の課題について認識させるとともに、消費者としての適切な意思決定に基づいて、責任を持って行動できるようにする。	定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
後期中間まで	食生活をつくる	栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させ、食生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して安全と環境に配慮し、主体的に食生活を営むことができるようにする。	実習への参加及び実技試験、提出物 授業への取組等により、技術・理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
後期期末まで	食生活をつくる	栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させ、食生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して安全と環境に配慮し、主体的に食生活を営むことができるようにする。	実習への参加、定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
家庭	家庭総合β	2	「家庭総合 自立・共生・創造」 (東京書籍)	DVD・保育人形・裁縫道具等	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	子どもと共に育つ	子どもの発達と生活、子どもの福祉について理解させ、親の役割と保育の重要性や地域及び社会の果たす役割について認識させるとともに、子どもを生み育てることの意義や子どもとかわるることの重要性について考えさせる。	定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
前期期末まで	子どもと共に育つ 共に生き、共に支える	子どもの発達と生活、子どもの福祉について理解させ、親の役割と保育の重要性や地域及び社会の果たす役割について認識させるとともに、子どもを生み育てることの意義や子どもとかわるることの重要性について考えさせる。 生涯を通して家族・家庭生活を支える福祉や社会的支援について理解させる。家庭と地域との関わりについて理解させる。 とともに、共に支えあって生きることの意義について理解を深めさせる。	定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
後期中間まで	衣生活をつくる	着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて科学的に理解させ、衣生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して、安全と環境に配慮し、主体的に衣生活を営むことができるようにする。	実習並びに授業への取り組み、被服製作の作品、提出物等により、技術・理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	18
後期期末まで	住生活をつくる	居住の機能、住空間の計画、住環境などについて科学的に理解させ、住生活の文化に関心をもたせるとともに、必要な知識と技術を習得して、安全と環境に配慮し、主体的に住生活を営むことができるようにする。	定期考査、提出物 授業への取組等により、理解・意欲・課題を解決する力等について評価する。	16